

平成 31 年度試験研究要望・提案課題の検討結果

(検討年度：平成 30 年度)

対応区分		内 容
A	要試験	次年度の試験研究として取り組む予定のもの
B	試験中	既に試験研究に取り組んでいるもの
C	実施を検討	施設整備等、試験研究環境の整備を待って、取り組みを検討するもの
D	成績・事例有	自県や他県に試験研究成果や事例があるもの
E	その他	実施が困難なもの、又は現地で対応すべきもの等

岡山県農林水産技術連絡会議

事務局：岡山県農林水産総合センター 普及連携部 産学連携推進課

平成31年度試験研究要望・提案課題一覧表

課題番号	課題名	提出時の分野	分野	整理番号	研究内容	対応区分
1	中山間地域農業における水田担い手広域連携の運営手法の研究	農研	経営 (その他)	011	広域連携組織の設立・運営手法の確立	B
2	水田汎用化における排水対策マニュアルの策定	農研	水田	021	水田での野菜導入時の排水対策技術のマニュアル化	A
3	飼料用米「夢あおば」の県中北部での適正	農研	飼料米の栽培 (米)	031	夢あおばの多収のための移植時期、密度、施肥量の検討	B、E
4	水稲業務用多収性品種の安定多収生産技術の確立	農研	水稲	041	安定多収のための施肥技術の確立	B、D
5	水田乾田直播栽培における雑草イネの発生防止対策	農研	水稲	051	現在発生している雑草イネの特性の確認	B
		農研		052	除草剤、資材による雑草イネ対策	B
6	水稲の密播育苗技術の確立	農研	水稲	061	適正播種量の確認及び安定した育苗法の確立	E
		農研		062	欠株率の改善と初期生育の確保	E
		農研		063	適切な病害虫対策方法確立	D
7	きぬむすめの基本全量施肥による良食味米生産技術の確立	農研	収穫技術	071	基肥全量施肥体系における良食味生産条件の解明	D、E
		農研		072	基肥全量施肥体系における良食味生産技術の確立	D
8	ドローンを活用した水稲の生育診断と省力追肥技術による品質・収量の向上	農研	水稲	081	ドローンを活用した生育診断	E
		農研		082	省力的な追肥技術の開発	E
9	稲作による「のれん分け」による担い手育成のモデルの構築	農研	水稲	091	「のれん分け」による育成の実態把握	A
		農研		092	「のれん分け」による育成モデルの構築	E
10	米における岡山県独自品種の「強み」の明確化	農研	水稲	101	県独自品種の特長の明確化	E
11	施肥低コスト化に伴う稲作の要素欠乏の把握と対策	農研	水稲	111	硫黄、微量要素の欠乏の現状把握	A
		農研		112	硫黄、微量要素欠乏の改善施肥方法	A
12	小麦における基肥一発肥料の開発	農研	畑 (小麦)	121	小麦における全量肥料の開発	D、E
13	二条大麦の収穫適期判定チャートの作成	農研	畑 (大麦)	131	成熟に伴う外観や品質等の経時変化把握	B
		農研		132	収穫鉄器判定チャートの作成	B
14	農業経営の実態把握	農研	農業経営	141	育成すべき担い手の農業所得等の推計(市町村別・営農類型別)	E
15	GAP実践による経営改善効果の金額ベースでの数値化	農研	農業経営	151	GAP実践による経営改善効果の金額ベースでの数値化	E
16	黒大豆枝豆の効果的なアブラムシ防除(茶しみ英低減対策)、育成系統の早期現地試験	農研	病害虫 (黒大豆)	161	茶しみ英発生低減のためのアブラムシの効果的薬剤防除方法	D、E
		農研	病害虫 (黒大豆)	162	ネット被覆栽培における薬剤防除方法	D、E
		農研	畑作物の栽培 (黒大豆)	163	9月出荷可能なSMV抵抗性黒枝豆新系統の現地適応性試験早期実施	E
17	県南部産地における黒大豆の安定多収技術の確立	農研	畑作物の栽培 (黒大豆)	171	県中南部に適した丹波黒系統の選抜	E
		農研		172	高品質の2L以上収量が最大となる栽培方法の確立	D

平成31年度試験研究要望・提案課題一覧表

課題番号	課題名	提出時の分野	分野	整理番号	研究内容	対応区分
18	加工・業務用キャベツ、たまねぎの安定生産・収益向上に向けた技術の体系化	農研	排水対策	181	ほ場ごとの排水対策選択のためのフローチャート作成	A
		農研	収穫技術	182	多収・一斉収穫技術の確立	E
		農研	野菜の栽培(キャベツ)	183	キャベツの端境期収穫方法の検討	E
19	白小豆「岡山ADZ1号」の安定生産技術の確立	農研	畑(白小豆)	191	安定多収が可能な栽培方法の確立	D、E
		農研	畑(白小豆)	192	カビ粒の発生原因の確認と防除適期の確立	E
20	加工用ぶどうの安定生産技術の確立	農研	果実(ぶどう)	201	既存園地での加工用ぶどう生産技術の確立	E
		農研		202	加工用ぶどう専用生産技術の確立	E
21	シャインマスカットの栽培適地の研究	農研	果実(ぶどう)	211	気象要素が成熟に及ぼす影響の研究	B
		農研		212	成熟特性から見た栽培適地の把握	A
22	赤色ぶどうの新品種育成、既存の主要赤色ぶどう品種の栽培指針作成	農研	果実栽培(ぶどう)	221	赤色ぶどうの新品種開発	B
		農研		222	主要赤色ぶどうの特性把握と栽培指針作成	B、D
23	ピオーネ着色向上技術の確立	農研	果実(ぶどう)	231	ピオーネ着色向上技術確立	D
		農研		232	環状剥皮技術の確立	E
		農研		233	着色優良樹選抜による苗木の生産	E
24	シャインマスカットの「軸枯れ症状」軽減対策	農研	果実(ぶどう)	241	「軸枯れ」発生要因の特定	D
		農研		242	「軸枯れ」発生軽減対策技術の開発	B
25	シャインマスカットの栽培条件が果皮の厚さに及ぼす影響について	農研	果実(ぶどう)	251	被覆資材が及ぼす影響確認	E
		農研		252	ホルモン処理が及ぼす影響確認	B、D
26	シャインマスカットでの適切な無核化処理方法について	農研	果実(ぶどう)	261	ホルモン処理が及ぼす影響確認	B、D
27	夏季高温年におけるブドウの着色向上対策	農研	果実(ぶどう)	271	気温による成熟期の着色予測	E
		農研		272	夏季高温年の着色向上対策の確立	D、E
28	高品質シャインマスカットの安定生産技術の確立	農研	果実(ぶどう)	281	糖度と果粒肥大の関係	D
		農研		282	石ブドウの発生軽減対策	B
		農研		283	果軸褐変の原因の解明	B
29	シャインマスカットの無核化の高位安定性	農研	果実(ぶどう)	291	ストレプトマイシンの処理適期の把握	B、D
		農研		292	処理適期の生育相の把握	B
		農研		293	高位安定した無核化率が得られる樹勢の把握	B
30	シャインマスカットの無核化の徹底について	農研	果実(ぶどう)	301	シャインマスカット無核化の徹底について	B、D
		農研		302	ホルモン処理適期の分かりやすい指標の提示	B

平成31年度試験研究要望・提案課題一覧表

課題番号	課題名	提出時の分野	分野	整理番号	研究内容	対応区分
31	ポストビオーネの育成	農研	果実 (ぶどう)	311	ポストビオーネの育成	B
32	白麗、白皇の生産現場での「いも果」(果梗内亀裂小果)発生の実態把握と対策確立	農研	果実 (もも)	321	「いも果」発生が少ない生産者の実態調査	B、D
33	モモ 極晩生品種の安定生産に向けた防除対策としての防虫・防菌袋の使用法	農研	果実 (もも)	331	極晩生品種用の防虫・防菌袋の検討	E
34	ももの急性枯死症状の原因究明と対策の検討	農研	果実 (もも)	341	急性枯死症状の発生要因の解明	B
		農研		342	発生ほ場での被害防止対策の検討	B
		農研		343	発生ほ場での改植方法の検討	B
35	桃の渋み成分の消長等の検討について	農研	果実 (もも)	351	桃の輸送条件の違いが渋み成分の消長に及ぼす影響	B
		農研		352	渋みを感じない試食の方法について	E
36	新規就農希望者の就農計画作成支援アプリの開発(果樹専用)	農研	果樹 (全般)	361	新規就農希望者の就農計画作成支援アプリ	D、E
37	はくさい、キャベツのコナガに対する有効薬剤の確認	農研	野菜 (はくさい、キャベツ)	371	はくさい、キャベツのコナガに対する有効薬剤の確認	A
38	スナックエンドウの安定出荷技術の確立	農研	野菜 (エンドウ)	381	夏まき発芽および初期生育向上	E
		農研		382	降雨による病害対策の確立	E
39	蒜山地域での加工・業務用野菜の生産安定	農研	野菜 (キャベツ)	391	蒜山地域における加工業務用に適するキャベツ栽培体系の確立	A
		農研	野菜の栽培 (タマネギ)	392	春植えタマネギの栽培体系確立	B
40	加工業務用向けキャベツの安定生産	農研	野菜 (キャベツ)	401	大玉生産技術	A
		農研		402	生育揃いの改善	A
41	いちご土耕栽培での品種特性把握	農研	野菜の栽培 (イチゴ)	411	本県主要品種及び育成系統の土耕栽培での特性把握	D、E
42	くだもの王国おかやまを代表するいちごの品種育成及び高品質生産技術の確立	農研	野菜の栽培 (イチゴ)	421	県独自品種の育成	B
		農研		422	高品質安定生産技術の確立	B
43	いちご「おいCベリー」の年内収量と全体収量の安定増加対策	農研	野菜の栽培 (イチゴ)	431	おいCベリーの果実特性を保った花芽分化促進方法の確立	B
		農研		432	おいCベリーの果実特性を保った連続出荷技術の確立	B
		農研		433	おいCベリーの果実特性を保った花芽分化促進方法と連続出荷技術の確立	B
44	四季成り性いちご「STB1号」の栽培技術の確立	農研	野菜 (イチゴ)	441	開花や果実肥大など品種生態の把握	B
		農研		442	芽の立て方の検討	B
		農研		443	夏定植作型の検討	B
45	夏秋キュウリ栽培におけるウイルス病のワクチンの有効性	農研	野菜の栽培 (キュウリ)	451	夏秋キュウリ栽培におけるウイルス病のワクチンの有効性	D、E
46	岡山県産トマトの食味向上に向けた栽培技術の検討	農研	野菜の栽培 (トマト)	461	桃太郎系品種と他産地主要品種との食味比較	E
		農研		462	食味向上のための栽培技術の検討	D
47	笠岡アシタバ品種登録のための固定化	農研	野菜の栽培 (アシタバ)	471	野菜の栽培方法	E
48	笠岡アシタバ苗づくり技術開発	農研	野菜の栽培 (アシタバ)	481	苗づくりの方法	D

平成31年度試験研究要望・提案課題一覧表

課題番号	課題名	提出時の分野	分野	整理番号	研究内容	対応区分
49	白ねぎ5～6月収穫の作型確立について	農研	野菜の栽培 (白ねぎ)	491	春どり作型の確立	B
		農研		492	省力的な防除体系の確立	D、E
50	白ねぎ周年栽培技術確立	農研	野菜の栽培 (白ねぎ)	501	無被覆で5・6月出荷可能な白ねぎ品種とその品種の特性を生かせる栽培技術の検討	B
		農研		502	夏越し技術対策の確立	D、E
		農研		503	関東の団地で周年出荷されている技術情報も教えてほしい	E
51	冬春なすに対する効率的な炭酸ガス施用方法の確立	農研	野菜の栽培 (なす)	511	炭酸ガス効果を高める喚起方法の検討	A
		農研		512	単棟ハウスにおける適切な湿度管理方法の検討	A
52	農業研究所育成ラークスパー新品種の県北部での特性把握と早期抽台軽減技術の確立	農研	花きの栽培 (ラークスパー)	521	育成品種の県北部での開花特性把握	E
		農研		522	間欠冷蔵処理による早期抽台軽減技術の確立	D、E
53	リンドウ3号の活着不良、生育のパラツキの原因究明	農研	花きの栽培 (リンドウ)	531	リンドウ3号の活着不良、生育のパラツキの原因究明	B、E
54	県オリジナルリンドウの品種登録省略による県内普及の早期化	農研	花きの栽培 (リンドウ)	541	優良F1系統の早期普及	B
55	県オリジナル品種採取事業の安定化	農研	花きの栽培 (リンドウ)	551	強健な親株の母本によるオリジナル品種の育成	B
56	おかやま夢りんどうのシリーズ化と栽培技術の確立	農研	花きの栽培 (リンドウ)	561	おかやま夢りんどうのシリーズ化	B
		農研		562	新品種の栽培方法の確立	B、E
		農研		563	新品種の経済性・市場性評価	B
57	おかやまオリジナルリンドウ培養系の安定供給	農研	花きの栽培 (リンドウ)	571	枯死の原因とその対策	B、E
		農研		572	培養苗の安定生産技術の確立	D
		農研		573	おかやまオリジナル有望系統の育成	B
58	県オリジナルりんどうの適度の節間につまり、花段数の付きすぎない品種育成について	農研	花きの栽培 (リンドウ)	581	節間が間延びすぎない、花段数が付きすぎない品種の育成	B
59	スイートピーの耐暑性を有した品種の育成	農研	花き (スイートピー)	591	耐暑性品種の育成	B
		農研		592	船種主要品種における耐暑性の確認	B
60	ブプレウラムの生理障害対策技術の確立	農研	花き (ブプレウラム)	601	ブプレウラムの生理障害対策技術の確立	D、E
61	岡山県オリジナルフラワー品種の育成	農研	花き (新品種開発)	611	新たなスイートピー品種の育成	B
		農研		612	新たなりんどう品種の育成	B
62	夏秋なすにおける青枯病対策	農研	病害虫 (なす)	622	夏秋なすにおける総合的な青枯病対策の確立	B、D
63	冬春なすにおけるうどんこ病菌に対する有効薬剤の確認	農研	病害虫 (なす)	631	うどんこ病菌に対する薬剤の有効性の確認	B、D
64	露地きゅうり病害の対策確立	農研	病害虫 (キュウリ)	641	褐斑病と炭疽病の両方に効果のある薬剤の把握と効果的な防除体制の確立	D、E
		農研		642	褐斑病と炭疽病の両方に効果のある薬剤の登録拡大	B
65	ゴボウネモグリバエ防除対策の確立	農研	病害虫 (ゴボウ)	651	ゴボウネモグリバエの発生消長の明確化	D、E
		農研		652	ゴボウネモグリバエの総合防除対策の確立	E

平成31年度試験研究要望・提案課題一覧表

課題番号	課題名	提出時の分野	分野	整理番号	研究内容	対応区分
66	ゲノム編集による改良技術の検討、確立	生科研	ゲノム	661	ゲノム編集による花卉の改良技術の確立	C
67	春菊の生産性向上	生科研	野菜の栽培 (春菊)	671	夏栽培の生産性向上	E
		生科研		672	冬栽培の生産性向上	E
		生科研		673	連作障害の改善	E
68	薬剤耐性菌発生リスクの低減に向けた環境低負荷型の病害防除方法の開発	生科研	野菜の栽培 (イチゴ)	681	薬剤耐性菌発生リスクの低減に向けた環境低負荷型の病害防除方法の開発	E、B、D
69	吉備中央町のイチゴ生産	生科研	野菜の栽培 (イチゴ)	691	イチゴの減農薬栽培技術の確立	B
70	アシタバにおけるF1野菜の野生化の阻止	生科研	野菜 (アシタバ)	701	簡単なF1判別法の開発	E
71	原生林アシタバの分類	生科研	野菜 (アシタバ)	711	原生林アシタバの分類	E

平成31年度試験研究要望・提案課題一覧表

課題番号	課題名	提出時の分野	分野	整理番号	研究内容	対応区分
72	県下畜産を想定したアニマルウェルフェア(AW)技術の検討と普及	畜研	乳用牛	721	県下畜産を踏まえた実地的なAW技術の検討	E
73	ジャージー乳の黄色度改善技術の開発	畜研	乳用牛	731	低コスト乳質改善技術の開発	D
74	乳用牛雌雄判別精液の利用方法と収益性の調査研究	畜研	乳用牛	741	県内の事例調査と経営改善につながる導入方法	A
75	泌乳標準化推進に向けた飼養管理方法及び経営モデルの検討	畜研	畜研	751	泌乳標準化と達成する飼養管理法の検討	B
		畜研		752	泌乳標準化による経営モデルの検証	B
76	搾乳ロボット排水の実態調査と低コスト処理技術の確立	畜研	乳用牛	761	搾乳ロボット導入事例の排水実態調査	D
		畜研		762	低コスト搾乳ロボット排水処理技術の確立	E
77	乳用牛の泌乳標準化による経済的メリットの検証	畜研	乳用牛	771	泌乳標準化による経済効果	B
78	おいしい「おかやま牛肉」へ	畜研	肉用牛	781	地域牝系統による食味値、抗酸化力の解析	E
		畜研		782	ジャージー牛肉の食味値、抗酸化力の解析	D
79	持ち運びができる簡易アブトラップの開発	畜研	肉用牛	791	簡易な新型アブトラップの開発	D
		畜研		792	新型アブトラップの実証	D
80	アルファルファ発酵粗飼料を用いた子牛のほ育苗の検証	畜研	子牛育成	801	アルファルファ発酵粗飼料を用いた子牛のほ育苗の検証	E
81	和牛子牛の免疫能力改善による疾病予防効果の検討	畜研	肉用牛	811	新生子牛の免疫能力持続期間の検討	D
		畜研		812	効果的な貧血防止対策の検討	D
		畜研		813	現地実証試験	E
82	肉質に重視したパークシャー種の選抜と人工授精用精液の供給体制の強化	畜研	養豚	821	豚肉質の簡易評価手法の開発とそれによるパークシャー種の選抜強化	E
		畜研		822	人工授精用精液の供給体制の強化・整備	E
83	岡山県版家畜ふん堆肥・自給飼料の簡易診断ソフトの開発	畜研	家畜全般	831	堆肥・自給飼料分析結果のデータベース化	E
		畜研		832	堆肥・自給飼料簡易診断ソフトの開発	E
84	スマートフィーディング技術の開発	畜研	飼料栽培技術	841	子実用トウモロコシの栽培技術の確立	B
		畜研		842	子実用トウモロコシの利用技術の確立	E
85	クロピラリドによる作物発育障害を軽減する堆肥化方法及び施用方法	畜研	堆肥	851	クロピラリドの影響を低減する堆肥化方法	E
85	クロピラリドによる作物発育障害を軽減する堆肥化方法及び施用方法	畜研	堆肥	852	クロピラリドの影響を低減する施用方法	D
86	既存浄化処理施設に対応した窒素除去技術の検討	畜研	堆肥	861	窒素除去技術の検討	A

平成31年度試験研究要望・提案課題一覧表

課題番号	課題名	提出時の分野	分野	整理番号	研究内容	対応区分
87	高齢級林分(人工林)での伐採・搬出に係るコスト及び作業システムの確立	森林研	経営機械	871	大径木の伐採～搬出に係るコストの算出	E
		森林研		872	作業システムの確立	E
88	広葉樹林での伐採・搬出に係るコスト及び作業システムの確立について	森林研	経営機械	881	広葉樹の伐採～搬出に係るコストの算出	E
		森林研		882	作業システムの確立	E
		森林研		883	伐採後の天然更新による経過調査	E
89	少花粉ヒノキ苗木の生産性向上に関する研究	森林研	育林育種	891	生産現場での問題点究明	B
		森林研		892	既存の契約成果のブラッシュアップ	B
		森林研		893	マニュアルの作成	B
90	岡山甘栗のブランド化推進に向けた調査研究	森林研	特用林産	901	岡山甘栗の安定生産に関する調査	A
		森林研		902	岡山甘栗の果実品質向上に向けた調査	A
		森林研		903	岡山甘栗の加工・用途に向けた調査	E
91	マツタケ菌系体培地用添加剤の一部として必要とされるアカマツの根のデンプンの増産技術について	森林研	特用林産	911	アカマツの根に含まれるデンプンの増加方法	B
92	広葉樹林の利用と更新に関する研究	森林研	林木育種	921	広葉樹林の資源量調査	E
		森林研		922	進入植生の調査及び評価	E
		森林研		923	低コスト施業技術の検討	E
93	シカ不嗜好木との混植等による造林木の食害の軽減	森林研	森林保護	931	不嗜好木の効果的な混植技術の確立	B
		森林研		932	不嗜好木の成分を活用した忌避剤の開発と散布技術の開発	E
94	航空レーザー測量を実施した地域の単木の成長量調査	森林研	林木育種	941	調査木の設定と継続した成長量調査	A
95	中温域の熱風加熱減圧乾燥を用いた製材品の香り成分の分析について	森林研	木材加工	951	製材品の香りの比較	A
96	CLT材を平角用材として用いた場合の強度について	森林研	木質材料	961	CLTを平角用材として用いた場合の強度について	D
97	ヒノキの熱圧処理材の活用方法	森林研	木材加工	971	無垢材、既存の熱圧処理材との比較による特質の把握	A
		森林研	木材加工	972	コスト分析	C
		森林研	木材加工	973	商品開発	C
98	岡山県産材による着色木材の開発	森林研	木材加工	981	着色木材の製造技術の確立	A
		森林研	木材加工	982	着色木材の性能評価	A
99	CLT用ラミナの含水率のばらつきを軽減するため乾燥方法の確立	森林研	木材加工	991	ラミナの樹種(スギ・ヒノキ)別、採材部位(心材・辺材)別、季節別の乾燥方法の確立	C

平成31年度試験研究要望・提案課題一覧表

課題番号	課題名	提出時の分野	分野	整理番号	研究内容	対応区分
100	マガキ採苗安定化技術の開発	水研	水産資源	1001	幼生発生状況の基礎調査	C
		水研		1002	効率的な採苗技術の開発	C
101	岡山県産天然アユを用いた資源回復	水研	水産資源	1011	県産天然アユを用いた種苗生産技術開発	A・D
		水研	漁場環境	1012	県産天然アユの冷水病耐性	B・D
		水研	水産資源	1013	放流効果調査	A
102	ホンダワラ(アカモク)の分布状況調査	水研	水産資源	1021	ホンダワラ(アカモク)の分布について	B
103	アマモ場再生とアサリの増殖	水研	水産資源	1031	アマモ場再生とアサリの増殖	E
104	藻場(特にガラモ)の回復	水研	漁場環境	1041	ガラモ場減少の原因究明	B
		水研		1042	ガラモ場の回復手法の研究	D
105	海底耕うんによる栄養塩濃度への影響	水研	漁場環境	1051	海底耕うんによる栄養塩濃度への影響についての調査	B・D
106	アサリ資源回復技術の開発	水研	漁場環境	1061	種苗生産及び中間育成に関する技術の確立	D
		水研		1062	被覆網を用いた効果的な生産技術の開発	D
		水研		1063	クロダイ等の効果的な駆除方法の開発	D
107	下水処理の運転によるノリ養殖海域への栄養塩の供給効果について	水研	漁場環境	1071	下水処理施設からノリ養殖海域までの漁場環境調査	C
		水研		1072	ノリ漁場の生育状況調査	C
		水研		1073	下水処理施設周辺の生物相の変化把握	C
108	ガラモ場再生	水研	漁場環境	1081	消長原因調査と藻場再生手法の検討	B・D
109	アナゴの資源回復	水研	水産資源	1091	アナゴの資源回復	D